

# がん検診へのメッセージ

がん検診の大切さは、伝わりましたか？



愛知県では、一人でも多くの方にがん検診の大切さが伝わるよう、がんの体験などを「がんまつわる短編エッセイ」として募集しました。



今回、ご応募いただいた作品の一部を紹介します。

## 01 .....

### 「親友との約束」

ガンなんてドラマや映画の世界、と思っていた私。そんな私の考えを嵐のごとく吹き飛ばしたのが、友達から告げられた言葉「おっばいに悪性の腫瘍が見つかったの」。あまりにもサラリと世間話のように告げられた、けれども衝撃的な言葉。その言葉をもう一度、自分の中で噛み締めて見た時、事の重大さがこみ上げてきた・・・。

幸い初期発見。家庭に入ってから検診と言うものに行っていなかった彼女が、ピンクリボンのイベントで受けようと思いつき、人間ドックにかかっていたのが発見。そんな彼女とした約束、それが「毎年、誕生日に、自分の為、そして自分を支えてくれている家族の為に検診を受けよう！」

幸い、彼女も完治し、私も毎年約束を守っています！

(31歳 女性)

## 02 .....

### 「あの日のこと」

二人の子供は大学生、私は仕送りの為にも我武者羅に働いていた。

ここ数年、検診も受けずにいたが、心のどこかに「このままじゃまずいよな～。もうすぐ50才の誕生日だしなあ～」の思いがあった。会社の勤めもあり、意を決して検診へ。初めてのマンモグラフィ検査に、薄い青色検査着の下の乳房辺りが、ドキドキと波立つ・・・。

その後、画像を見ながら、医師が「乳癌の疑いがあります。このまま精密検査へ入ります。よろしいですか？」と言った。まさかの展開・・・。これが乳癌との長い戦いのはじめの一步だった。

幸いにも、早期発見ができた。今こうして忙しく家族と共に生きている。4年前のあの日のことは、それでも決して忘れない。

(54歳 女性)

## 03 .....

### 「乳がん患者から伝えたいこと：乳がん治療について」

乳がん治療について不安を抱いていませんか。実は私も不安でした。でも、自分が乳がんになり治療をしていく中で、乳がん治療は想像以上に進歩していることがわかりました。乳がんと診断されても乳房温存療法があり、もし乳房を失っても再建ができます。

この他にも有効な治療法が多く、また患者の生活に合わせて治療が行われ希望も聞いていただけます。がんの中でも乳がんは早期発見がし易く、早期治療をすると治る確率が高いと言われています。しかし、発見が遅くなり治療が遅れるほど、治療が困難になり治療費も嵩みます。

早期乳がんは決して怖い病気ではありません。勇気をもって乳がん検診を受診しませんか。

(62歳 女性)

## 04 .....

### 「乳がん検診を受けよう」

「これはダメです。手術しましょう。」乳がんの宣告を受けた二十年程前の私は四十二才。仕事や子供達のことでも忙しい日々。「なぜ？私が…。」涙が止らない。その頃私は年一回の検診を受けており、自分でも乳房に触れ注意していたつもり。

ある日、小さなしこりに不安がつり、県がんセンターでマンモグラフィや超音波の検査を受けました。「大丈夫ですよ。」と先生がおっしゃって下さるのを期待しつつ…。

しかし残念ながら右の乳房を手術で失ってしまいショック。でもあの時、痛くも、かゆくもないしこりに「忙しいから…。」と放っておいたら、確実に今の私はなかったと思えます。

「がんは恐ろしい。」でも早く発見すれば治癒率は高い。乳がんの場合は自分で気がつくかも。又、私は声を大にして、「年一回の検診は命を守る一番の方法ですよ！」と叫びたい。(64歳 女性)

## 05 .....

### 「無題」

私は30歳を機に毎年乳がん・子宮がん検診を受けようと決めており、2回目の今年、初期の乳がんが見つかりました。31歳になって間もなくです。がんが見つかったことは決して喜ばしい事ではありませんが、初期で見つかった事は不幸中の幸いだと思います。検診のおかげで早期発見でき、病院では検診を受けていたことを褒められた程でした。一瞬の痛みや恥ずかしさがあったとしてもそれを我慢すれば、長く辛い治療も少なくて済むのです。

これから始まる治療で辛い事があると思いますが、自ら進んで受けた検診でがんが見つかった事に自信を持ち、辛い時も自分で自分を誉めて頑張っていけそうです。

私の周りの大切な人にも是非検診を受けて欲しいです。(31歳 女性)

## 06 .....

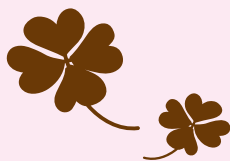
### 「決してあきらめない」

25才の誕生日「25才になったら乳房チェックした方がいいらしいよ」と教えてくれた主人、最高のプレゼントでした。なぜならクリスマスイブに「乳癌」と告知されました。早期癌でした。

この言葉がなければ今の私はいたのでしょうか？

悲しいことに16年たった昨年、温存乳房に乳癌が顔をかえて出現しました。つらい抗癌剤治療を頑張っています。主人が毎朝「調子はどう？」と気遣ってくれます。娘も「ママ大丈夫？」と。たくさんの方が応援してくれます。皆に支えてもらって感謝の毎日です。こんなに倅せなことはありません。

私も皆の為に生きていたいと思っています。(41歳 女性)



がん検診、あなたもぜひ受けて下さい。



がん検診は、お勤め先や、人間ドックや、お住まいの市町村で受けることができます。市町村が実施するがん検診は、厚生労働省の指針が定められており、胃、大腸、肺の各がん検診は40歳以上(男女)年1回、乳がん検診は40歳以上(女性)2年に1回、子宮がん検診は20歳以上(女性)2年に1回受診することが推奨されています。